

令和4年度笠岡市平和祭

アニメ映画「はだしのゲン」上映会 &

笠岡市拓友会 伊藤明子さん講話

入場無料
(要申込)

◆日時▼8月14日(日)14時〜16時(13時30分開場)
◆場所▼笠岡市保健センターギャラクシーホール(笠岡市十二番町1-3)



「満洲にかけた夢 ~俺らは少年開拓団~」

- 手話通訳があります。
- 新型コロナウイルス感染予防のため、入場の際は検温、手指消毒、マスクの着用をお願いします。



伊藤 明子さん

◆ 申込・お問合せ ▶ 笠岡市人権推進課

申込締切:8月12日(金)

【申込みフォームから】右記二次元コードからお申し込みください。



【メール・電話から】代表者の氏名、参加人数、住所、連絡先をお伝えください。

TEL:0865-69-2120 メール:jinkensuishin@city.kasaoka.okayama.jp

ホームページは
こちら



笠岡市 平和祭

検索

主催 ▶ 笠岡市 笠岡市非核平和都市宣言啓発実行委員会 ※新型コロナウイルス感染状況により、延期または中止することがあります。

戦争や平和のこと、子どもたちにどう伝える？

「どうして戦争はなくなるの？」「平和って何だろう」

とても大切な話ですが、大人でも答えに詰まってしまう難しい話題ではないでしょうか。子どもたちに今すぐには伝わらなくても、家族で一緒に考えたり話したことは、きっと大きくなって記憶に残るはず。

「笠岡市平和祭」がそのきっかけになればと思います。

「はだしのゲン」ってどんなお話？

アニメ映画「はだしのゲン」は、小学1年生の時に広島で被爆した作者中沢啓治さんの体験をもとに描かれた漫画作品が原作です。この映画は、アニメが子どもたちの心をつかむ力に驚いた中沢さんが「アニメを使って子どもたちに戦争や原爆のことを伝えたい」との思いで、自ら脚本を書き制作されました。

【あらすじ】

昭和20年夏、広島。中岡元（ゲン）は、国民学校三年生の男の子。家族で貧しいながらも助けあって明るく元気に暮らしていた。8月6日、広島に一発の原子爆弾が投下された。目の前で父親と姉弟を失い打ちひしがれたゲンだったが、焦土と化したヒロシマで、母と共に強く生きていく決意をする。


伊藤明子さんってどんな人？

1941年、旧大島村の人々が、旧満洲に大島村の分村をつくるために「浩良大島開拓団」として入植しました。

旧満洲で生まれ育った伊藤さんは、ソ連軍による侵攻から逃れた経験があり、「ロシア軍の侵攻によって戦禍を逃れるウクライナの人々の姿は、突然生活を奪われる悲しみや辛かった当時の思いと重なる。」と言います。

学校の先生をされていた伊藤さん。画像なども使いながら当時の様子から平和の尊さについて分かりやすくお話しいたします。





夏休みの宿題や平和学習のヒントに

当日参加者には
笠岡市立図書館で読める「平和」に関する本リスト
読書感想文ワークシートを配布します

【会場のご案内】

笠岡市保健センター ギャラクシーホール
(笠岡市十一番町1-3)

